

平成16年 教室業績(2004年1月~12月)

(A)原著論文

- 1) 藤村茂人、蕪城俊克、沼賀二郎、藤野雅次郎、川島秀俊。ベーチェット病などのぶどう膜炎に続発する緑内障の臨床統計。平成15年度厚生省特定疾患ベ・チェット病調査研究班。平成15年度研究業績：60-64, 2004。
- 2) 橋本尚子、原岳、水流忠彦：巨大乳頭結膜炎により濾過胞上皮欠損を生じた1症例。眼科手術17(4)：609-612, 2004。
- 3) 橋本尚子、原岳、高橋康子、久保田俊介、久保田みゆき、水流忠彦：正常眼圧緑内障に対するチモロール・ゲル、ラタノプロスト点眼の短期使用と長期眼圧下降効果。日眼会誌108(8)：477-481, 2004。
- 4) 蕪城俊克、沼賀二郎、藤野雅次郎、川島秀俊：ベーチェット病に対する長期低容量ステロイド併用療法。平成15年度厚生省特定疾患ベ・チェット病調査研究班。平成15年度研究業績：65-70, 2004。
- 5) 柿沼有里、猪木多永子、加藤正夫、酒井理恵子、牧野信二、水流忠彦：樹氷状網膜血管炎の2症例。眼臨98：123-127, 2004。
- 6) 柿沼有里、小幡博人、加藤正夫、神原千浦、原岳、水流忠彦：翼状片の術式別手術成績の比較。臨眼58：719-722, 2004。
- 7) 神原千浦、牧野伸二、田邊和子、清水由花、伊野田繁：特発性黄斑円孔の手術成績。内境界膜剥離導入前後の比較。眼臨98：987-991, 2004。
- 8) 久保田みゆき、原岳、久保田俊介、橋本尚子、水流忠彦：ドルゾラミドからプリンゾラミドへの切り替え試験後の眼圧下降効果の比較。臨眼58(3)：301-303, 2004。
- 9) 牧野伸二、酒井理恵子、保沢こずえ、近藤玲子、川崎知子、坂庭敦子、杉山華江、平林里恵、山本裕子、水流忠彦：強度近視に伴う固定内斜視の手術前後の画像所見。眼臨98：123-127, 2004。
- 10) 牧野伸二、酒井理恵子、保沢こずえ、近藤玲子、川崎知子、坂庭敦子、杉山華江、平林里恵、山本裕子：先天内斜視、乳児内斜視における交代性上斜位の検出年齢。眼臨98：323-327, 2004。
- 11) 牧野伸二、佐々木誠：クリスタリン網膜症の走査レザ・検眼鏡所見。あたらしい眼科21：1579-1582, 2004。
- 12) 森加奈、小幡博人、水流忠彦：片眼の眼瞼浮腫で発症した甲状腺眼症の1例。臨眼58：781-783, 2004。
- 13) 大島春香、牧野伸二、近藤千佳、金上貞夫、水流忠彦：多クローン性高グロブリン血症にみられた血液過粘稠度症候群網膜症の1例。臨眼58：309-313, 2004。
- 14) 関根寿樹、小幡博人、白土城昭、楠隼、水流忠彦：家族性アミロイドポリニューロパチー型に伴う型格子状角膜ジストロフィの1症例。臨眼58：217-222, 2004。
- 15) 高橋康子、牧野伸二、小幡博人、神原千浦、水流忠彦：黄白色結節から網膜下腫瘤性病巣へと進展した眼内悪性リンパ腫の1例。臨眼58：1033-1037, 2004。
- 16) Akiyama, K., Numaga, J., Kagaya, F., Takazawa, Y., Suzuki, S., Koseki, N., Kato, S., Kaburaki, T., Kawashima, H. : Case of optic nerve involvement in metastasis of gastrointestinal stromal tumor. Jpn J Ophthalmol 48:166-168, 2004。
- 17) Gregerson, DS, Kawashima, H. : APC derived from donor splenocytes support retinal autoimmune disease in allogeneic recipients. J Leukocyte Biology 76:383-387, 2004。
- 18) Goto, Y., Ohaki, Y., Ibaraki, N. : A clinicopathologic case report of inflammatory pseudotumors involving the conjunctiva and lung. Jpn J Ophthalmol 48:573-577, 2004。
- 19) Inoki, T., Endo, H., Inoki, Y., Hamamoto, T., Tsuru, T., Mori, T., Miyata, K., Amano, S., Yamagami, S. : Damaged DNA-binding protein 2 accelerates UV-damaged DNA repair in human corneal endothelium. Exp Eye Res 79(3):367-376, 2004。
- 20) Inoki, T., Yamagami, S., Inoki, Y., Tsuru, T., Hamamoto, T., Kagawa, Y., Mori, T., Endo, H. : Human DDB2 splicing variants are dominant negative inhibitors of UV-damaged DNA repair. Biochem Biophys Res Commun

20;314(4):1036-1043, 2004.

21) **Obata, H.**, Kubota, M., Kawai, T., **Tsuru, T.** : Nevocellular nevus of the palpebral conjunctiva. Acta Ophthalmol Scand 82:632-633,2004.

22) Ohno, S., Nakamura, S., Hori, S., Shimakawa, M., **Kawashima, H.**, Mochizuki, M., Sugita, S., Ueno, S., Yoshizaki, K., Inaba, G. : Efficacy, safety, and pharmacokinetics of multiple administration of infliximab in Behcet's disease with refractory uveoretinitis. J Rheumatol 31:1362-1368, 2004.

23) Yoshida, A., **Kawashima, H.**, Motoyama, Y., Shibui, H., Tani, A., Kitagawa, M., Kaburaki, T., Shimizu, K., Zawa, Y., Hayashi, K., Numaga, J., Fujino, Y., Masuda, K.: Comparison of patients with Behcet's disease in the 1980s and 1990s. Ophthalmology 111:810-815, 2004.

(B)学会発表

1) **青木真祐, 中野佳希, 小幡博人, 水流忠彦** : 小児に生じた原因不明の片眼性角膜実質混濁の1例. 第28回角膜カンファレンス・第20回日本角膜移植学会、米子、2004年2月20日(抄録集p.82).

2) **青木由紀, 原岳, 橋本尚子, 青木真祐, 水流忠彦** : 自治医科大学病院眼科における白内障手術の術中合併症の検討. 第58回日本臨床眼科学会、東京、2004年11月12日(抄録集p.189).

3) **青木由紀, 原岳, 橋本尚子, 青木真祐, 水流忠彦** : 当科における白内障手術後の眼圧上昇. 第15回日本緑内障学会、新潟、2004年9月24日(抄録集p.176).

4) **青木由紀, 原岳, 橋本尚子, 青木真祐, 水流忠彦** : 当科における白内障術後早期の眼圧上昇. 第48回栃木県眼科集談会、宇都宮、2004年10月15日.

5) **青木由紀, 小幡博人, 水流忠彦, 金井信行** : 自治医科大学眼科における過去13年間の眼瞼・結膜腫瘍の検討. 第21回関東眼科学会、東京、2004年5月16日(抄録集p.62).

6) **遠藤勝久, 牧野伸二, 佐々木誠, 水流忠彦** : 神経線維腫症にみられたcongenital retinal macrovesselの1例. 第43回日本網膜硝子体学会、前橋、2004年12月4日(抄録集p.75).

7) **遠藤勝久, 佐々木誠, 牧野伸二** : 光干渉断層検査を行ったMicropipの1例. 第48回栃木県眼科集談会、宇都宮、2004年10月15日.

8) **藤村茂人, 藤野雄次郎, 沼賀二郎, 高橋賢一郎, 蕪城俊克, 福島はるみ, 吉田淳, 永原幸, 川島秀俊** : ベーチェット病などのぶどう膜炎にともなう続発緑内障の臨床統計. 平成15年度厚生省特定疾患ベーチェット病調査研究班、福島、2004年1月.

9) **藤村茂人, 蕪城俊克, 三嶋明香, 出田隆一, 櫻井真彦, 藤野雄次郎, 沼賀二郎, 川島秀俊** : 多発性後極部網膜色素上皮症とUveal Effusionの合併が見られた一症例. 第38回日本眼炎症学会、札幌、2004年7月.

10) **藤村茂人, 蕪城俊克, 秋山和英, 川島秀俊, 沼賀二郎, 藤野雄次郎, 新家真** : 東京大学病院眼科におけるぶどう膜炎患者の統計的観察. 第58回日本臨床眼科学会総会、東京、2004年11月.

11) **後藤陽子, 種元桂子, 茨木信博** : COX2阻害剤によるヒト水晶体上皮細胞のPGE2産生抑制. 第43回日本白内障学会・第30回水晶体研究会、舞浜、2004年3月5-7日.

12) **橋本尚子, 原岳, 水流忠彦** : 縫合糸で生じた石垣上乳頭により、濾過胞上皮欠損を生じた1症例. 第27回日本眼科手術学会総会、2004年1月31日(抄録集p.66).

13) **橋本尚子, 原岳, 水流忠彦** : 頸部腫瘍に続発したと考えられた開放隅角緑内障の1例. 第58回日本臨床眼科学会、東京、2004年11月12日(抄録集p.214).

14) **橋本尚子, 原岳, 高橋康子, 久保田俊介, 久保田みゆき, 水流忠彦** : 第3併用薬としてのブナゾシン点眼薬の眼圧下降効果. 第108回日本眼科学会総会、東京、2004年4月16日(抄録集p.266).

- 15) 原岳、原孜、水流忠彦：生活姿勢で再構成した24時間眼圧日内変動。第15回日本緑内障学会、新潟、2004年9月24日(抄録集p.101)。
- 16) 廣瀬敦規、川村邦彦、上玉麻子、神元亜希子、種元桂子、後藤陽子、茨木信博、工藤紀斗司、益子邦洋：蛍光眼底撮影時のアナフィラキシーショックに備えたシュミレーション訓練。第58回日本臨床眼科学会、東京、2004年11月11-14日。
- 17) 猪木多永子、山上聡、酒井理恵子、水流忠彦、遠藤仁司、宮田和典：角膜内皮細胞に発現するDNA修復因子DDB2の解析。第28回角膜カンファランス・第20回日本角膜移植学会、米子、2004年2月20日(抄録集p.86)。
- 18) 石井貴士、小佐野博史、西郡秀夫、茨木信博、綾木雅彦、谷口重雄：水晶体上皮細胞におけるマトリクスメタプロテイナーゼ(MMPs)について。第43回日本白内障学会・第30回水晶体研究会、舞浜、2004年3月5-7日。
- 19) 石崎こずえ、堀秀行、竹澤美貴子、猪木多永子、原岳、小幡博人、水流忠彦：ベーチェット病との鑑別が困難であった真菌性眼内炎の1例。第48回栃木県眼科集談会、宇都宮、2004年10月15日。
- 20) 蕪城俊克、川島秀俊、吉田淳、越野崇、藤村茂人、藤野雄次郎、秋山和英、沼賀二郎：ぶどう膜炎患者の血清中soluble CD44濃度。平成16年度厚生省特定疾患ベーチェット病調査研究班、福島、2004年11月。
- 21) 蕪城俊克、吉田淳、林清文、伊澤保穂、川島秀俊、沼賀二郎、藤野雄次郎：難治性ベーチェット病に対する低用量ステロイド薬併用療法の長期成績。平成15年度厚生省特定疾患ベーチェット病調査研究班、福島、2004年1月。
- 22) 蕪城俊克、吉田淳、藤村茂人、秋山和英、沼賀二郎、藤野雄次郎、川島秀俊：サルコイドーシスぶどう膜炎患者の血清中soluble CD44濃度。第108回日本眼科学会総会、東京、2004年4月。
- 23) 柿沼有里、神原千浦、原岳、小幡博人、水流忠彦：翼状片の遊離結膜弁移植術～遊離弁作製は上方から下方から？第108回日本眼科学会総会、東京、2004年4月17日(抄録集p.275)。
- 24) 柿沼有里、小幡博人、水流忠彦：類表皮嚢胞が疑われた転移性眼瞼腫瘍の1例。第58回日本臨床眼科学会、東京、2004年11月12日(抄録集p.232)。
- 25) 神原千浦、牧野伸二、田邊和子、清水由花、伊野田繁：初回閉鎖を得た特発性黄斑円孔術後の長期視力経過。第27回日本眼科手術学会総会、東京、2004年1月31日。
- 26) 越野崇、蕪城俊克、沼賀二郎、藤野雄次郎、川島秀俊、富所敦男、松尾寛、新家真：ぶどう膜炎に続発した緑内障に対するMMC併用線維柱帯切除術の成績。第58回日本臨床眼科学会総会、東京、2004年11月。
- 27) 久保田みゆき、原岳、久保田俊介、橋本尚子、水流忠彦：水晶体血管膜を有した無虹彩症の1例。第15回日本緑内障学会、新潟、2004年9月24日(抄録集p.99)。
- 28) 牧野伸二、木野内理恵子、保沢こずえ、近藤玲子、川崎知子、坂庭敦子、杉山華江、平林里恵、山本裕子：先天性Brown症候群のMRI所見。第45回日本視能矯正学会、盛岡、2004年10月24日。
- 29) 牧野伸二、酒井理恵子、保沢こずえ、近藤玲子、川崎知子、坂庭敦子、杉山華江、平林里恵、山本裕子：上斜筋付着部異常の1例。第60回日本弱視斜視学会総会・第29回日本小児眼科学会総会合同学会、沖縄、2004年6月19日。
- 30) 牧野伸二、佐々木誠：クリスタリン網膜症の走査レザ・検眼鏡所見。第42回北日本眼科学会、福島、2004年7月2日。
- 31) 牧野伸二、竹澤美貴子、久保田みゆき、近藤千佳、金上貞夫：硝子体出血、乳頭周囲網膜下出血を伴った傾斜乳頭症候群の1例。第58回日本臨床眼科学会、東京、2004年11月12日(抄録集p.212)。
- 32) 小幡博人、寺島浩子、川岸留美子、五十嵐俊彦：病理診断によって判明した穿孔性角膜潰瘍に伴う駆逐性出血の1例。第39回眼科臨床病理組織研究会、2004年11月26日。
- 33) 小幡博人、青木由紀、久保田みゆき、水流忠彦：ディフ・クイック染色による鏡検が有用であった真菌性角膜潰瘍の3症例。第47回栃木県眼科集談会、自治医大、2004年4月11日。
- 34) 小幡博人、青木由紀、久保田みゆき、水流忠彦：ディフ・クイック染色による鏡検が有用であった真菌性角膜潰瘍の

- 3 症例．第 58 回日本臨床眼科学会、東京、2004 年 11 月 11 日（抄録集 p.131）
- 35) 小幡博人、青木由紀、水流忠彦、金井信行：自治医科大学眼科における過去 13 年間の眼瞼・結膜腫瘍の検討．第 22 回日本眼腫瘍研究会、高知、2004 年 7 月 16 日（抄録集 p.26）．
- 36) 小幡博人、柿沼有里、神原千浦、原岳、水流忠彦：翼状片の遊離結膜移植術 遊離弁作製は上方から下方から？ 第 14 回下野眼科談話会、小山、2004 年 3 月 26 日．
- 37) 小幡博人、水流忠彦：マイボーム腺機能不全における結膜杯細胞の減少．第 108 回日本眼科学会総会、東京、2004 年 4 月 16 日（抄録集 p.246）．
- 38) 大野隆一郎、梯樟弘、杉紀人、斉藤由香、牧野伸二、安隆則：PCI 関連網膜症動物モデル．第 21 回日本眼循環学会、旭川、2004 年 7 月 16 日．
- 39) 大野隆一郎、梯樟弘、伊藤由香、牧野伸二、小林英司、袴田陽二、高城康弘、黒木昌寿、川上正舒：STZ 誘発糖尿病ラットの初期糖尿病網膜症におけるニプラジオール点眼薬の効果．第 47 回日本糖尿病学会年次学術集会、東京、2004 年 5 月 14 日．
- 40) 酒井理恵子、木野内忠稔、浜本敏郎、猪木多永子、水流忠彦、天野史郎、山上聡：ヒト角膜内皮細胞に高発現する CESP-1 の特異抗体作製と細胞内局在．第 28 回角膜カンファランス・第 20 回日本角膜移植学会、米子、2004 年 2 月 20 日（抄録集 p.86）
- 41) 佐々木誠、原岳、橋本尚子、水流忠彦：選択的レーザー線維柱帯形成術とアルゴンレーザー線維柱帯形成術の眼圧下降作用の効果比較．第 47 回栃木県眼科集談会、自治医大、2004 年 4 月 11 日．
- 42) 佐々木誠、牧野伸二、酒井理恵子、青木由紀、保沢こずえ、近藤玲子、川崎知子、坂庭敦子、杉山華江、平林里恵、山本裕子：Anderson 法による先天眼振の手術成績．第 47 回栃木県眼科集談会、自治医大、2004 年 4 月 11 日．
- 43) 杉紀人、梯樟弘、斉藤由香、大野隆一郎、木下望、牧野伸二、安隆則、黒木昌寿、加園恵三、川上正舒：STZ 誘発糖尿病ラットの初期糖尿病網膜症におけるニコランジルの影響．第 47 回日本糖尿病学会年次学術集会、東京、2004 年 5 月 14 日．
- 44) 杉紀人、斉藤由香、大野隆一郎、梯樟弘、牧野伸二：STZ 誘発のラット糖尿病モデルにおける retinal leukostasis に対するニコランジルの作用．第 108 回日本眼科学会総会、東京、2004 年 4 月 16 日．
- 45) 高本光子、蕪城俊克、沼賀二郎、藤野雄次郎、川島秀俊：多彩な症状を呈した悪性リンパ腫の一例．第 38 回日本眼炎症学会、札幌、2004 年 7 月．
- 46) 高本光子、蕪城俊克、吉田淳、沼賀二郎、藤野雄次郎、川島秀俊：ベーチェット病でコルヒチン内服中に CK 値の上昇を認めた 5 例．第 58 回日本臨床眼科学会総会、東京、2004 年 11 月．
- 47) 高本光子、川島秀俊、蕪城俊克、吉田淳、沼賀二郎、藤野雄次郎：ベーチェット病に対する第一選択薬コルヒチン使用中に CK 値の上昇を認めた 5 例．平成 16 年度厚生省特定疾患ベーチェット病調査研究班、福島、2004 年 11 月．
- 48) 高橋寛子、落合万理、唐津裕子、鎌田あすか、佐藤久美、田中育美、落合憲一、猪木多永子、木野内理恵子、橋本尚子、牧野伸二：外傷後に片眼性水平半盲様視野障害をきたした心因性視覚障害の一例．第 45 回日本視能矯正学会、盛岡、2004 年 10 月 24 日．
- 49) 竹澤美貴子、中野佳希、青木真祐、猪木多永子、小幡博人、水流忠彦：自治医科大学における過去 5 年間の感染性角膜潰瘍の検討．第 28 回角膜カンファランス・第 20 回日本角膜移植学会、米子、2004 年 2 月 20 日（抄録集 p.88）．
- 50) 竹澤美貴子、小幡博人、水流忠彦：両側涙腺の MALT リンパ腫の 1 例．第 58 回日本臨床眼科学会、東京、2004 年 11 月 12 日（抄録集 p.229）．
- 51) 上玉麻子、種元桂子、後藤陽子、横山恭典、鈴村幸史、茨木信博：白内障の手術基準に関する検討．第 115 回日本医大眼科症例検討会、東京、2004 年 6 月 10 日．
- 52) 上玉麻子、種元桂子、後藤陽子、横山恭典、鈴村幸史、茨木信博：白内障の手術基準に関する検討．第 43 回日本白

内障学会・第30回水晶体研究会、舞浜、2004年3月5-7日。

53) 吉田淳、川島秀俊、沼賀二郎、蕪城俊克、藤野雄次郎：ベーチェット病に対するステロイド内服症例の検討。平成16年度厚生省特定疾患ベーチェット病調査研究班、福島、2004年11月。

54) 吉田淳、沼賀二郎、蕪城俊克、川島秀俊、藤野雄次郎：ベーチェット病に対するステロイド単独使用症例の検討。第58回日本臨床眼科学会総会、東京、2004年11月。

55) 吉田淳、川島秀俊、蕪城俊克、堀純子、沼賀二郎、藤野雄次郎：前房関連免疫偏位誘導における脾臓とリンパ節での抗原の証明と半定量的解析～その2。第108回日本眼科学会総会2004.4.福岡

56) Hashimoto, T. : Short and long term hypotensive effect of Timolol-gel and Latanoprost instillation in normal tension glaucoma. 7th European glaucoma society, May 30-Jun 4, 2004.

57) Obata, H., Tsuru, T. : Conjunctival goblet cell loss in meibomian gland dysfunction. ARVO 2004 annual meeting, Fort Lauderdale, Florida, Apr 26, 2004 (Abstract p.61).

58) Ohno, S., Nakamura, S., Hori, S., Shimakawa, M., Kawashima, H., Mochizuki, M., Sugita, S., Ueno, S., Yoshizaki, K., and Inaba, G. : Treatment of Behcet's disease with refractory uveoretinitis with infliximab. International Behcet's disease congress, Antaria, Turkey, Oct 2004.

59) Ohno, R., Kakehashi, A., Ito, Y., Sugi, N., Makino, S., Kobayashi, E., Hakamada, Y., Takagi, Y., Kuroki, M., Kawakami, M. : Effects of topical Nipradilol on retinal microcirculation of early diabetic retinopathy. ARVO 2004 annual meeting, Fort Lauderdale, Florida, Apr 27, 2004.

60) Sugi, N., Kakehashi, A., Saito, Y., Ono, R., Kinoshita, N., Makino, S., Yasu, T., Kuroki, M., Kasono, K., Kawakami, M. : Effect of Nicorandil on retinal microcirculation in Streptozotocin-induced diabetic rats. ARVO 2004 annual meeting, Fort Lauderdale, Florida, Apr 27, 2004.

(C)著書・総説

1) 茨木信博：白内障手術の傾向と対策 術中・術後合併症と難治症例 ハイリスク症例-私はこうする 小児 2 小児白内障の手術。臨眼 58:240-243, 2004.

2) 蕪城俊克、川島秀俊：ぶどう膜炎併発緑内障における手術の適応・術式の選択・術後処置。あたらしい眼科 21:13-19, 2004.

3) 川島秀俊：赤ちゃんの病気&ホームケア事典。体の部位の異常～目。ひよこクラブ6月号、ベネッセコーポレーション、2004、p.179-182.

4) 川島秀俊：複視。BRAIN 77:6-7, 2004.

5) 川島秀俊：今日の治療指針～私はこうしている「サルコイドーシス(眼科)」。医学書院、2004、p.991-992.

6) 川島秀俊：59.急性出血性結膜炎。感染症、竹田美文・木村哲(編)、朝倉書店、2004、p.280-281.

7) 川島秀俊：免疫抑制剤。眼薬理 18:44-46, 2004.

8) 川島秀俊：60.流行性角結膜炎。感染症、竹田美文・木村哲(編)朝倉書店、2004、p.356-358.

9) 牧野伸二：20代でも加齢性の飛蚊症になるのか？クリニックQ&A2004年冬号、研友企画出版、2004、p.28.

10) 牧野伸二：しろめに黒いしみがあるが、視力に影響しないか？すこやかファミリー健康相談室12月号、研友企画出版、2004、p.31.

11) 小幡博人：眼科医のための病理学。30.輪部の解剖 3つの定義。眼科46:315-318, 2004.

12) 小幡博人：眼科医のための病理学。31.輪部の上皮 Palisades of Vogt。眼科46:469-472, 2004.

13) 小幡博人：眼科医のための病理学。32.眼科の液状検体の細胞診。眼科46:709-713, 2004.

14) 小幡博人：眼科医のための病理学。34.結膜の乳頭腫とヒトパピローマウイルス。眼科46:969-973, 2004.

- 15) 小幡博人：眼科医のための病理学. 36.円錐角膜の病理-静と動. 眼科 46:1189-1192,2004.
- 16) 小幡博人：Impression cytology. 眼科検査ガイド、文光堂、2004、p.402-403.
- 17) 小幡博人：角結膜スミア. 眼科検査ガイド、文光堂、2004、p.376-377.
- 18) 小幡博人、後藤浩：眼科医のための病理学. 29.臨床診断と病理診-眼瞼腫瘍の3症例. 眼科 46:223-227,2004.
- 19) 小幡博人、後藤浩：眼科医のための病理学. 33.非乾酪性肉芽腫の代表 サルコイドーシス. 眼科 46:851-854,2004.
- 20) 小幡博人、林暢紹：眼科医のための病理学.28.臓器に尋ね、組織に聴き標本に習うー加齢黄斑変性. 眼科 46:93 98,2004.
- 21) 小幡博人、平形明人、Alan D. Proia:眼科医のための病理学.37.単純糖尿病網膜症の病理. 眼科 46:1317-1321,2004.
- 22) 小幡博人、平形明人、Alan D. Proia:眼科医のための病理学.38.増殖糖尿病網膜症の病理. 眼科 46:1773-1777,2004.
- 23) 小幡博人、森樹郎、平形明人：眼科医のための病理学. 35.眼内悪性リンパ腫の診断 硝子体の寒天包埋と網膜生検. 眼科 46:1085-1092,2004.
- 24) 小幡博人、高橋圭三、征矢耕一：眼科医のための病理学. 39.エキシマレーザーによる角膜表層切除. 眼科 46:1893-1897,2004.
- 25) 小幡博人、水流忠彦：上眼瞼脂腺癌. 臨眼 58:324、2004.
- 26) 水流忠彦：視覚器の発生と先天異常.大野重昭・澤充・木下茂(編) 標準眼科学第9版、医学書院、2004、p.178-187 .
- 27) 水流忠彦：白内障. 坂井建雄・五十嵐隆・丸井英二(編) からだの事典、朝倉書店、2004、p.223-224 .
- 28) 水流忠彦：緑内障. 坂井建雄・五十嵐隆・丸井英二(編) からだの事典、朝倉書店、2004、p.224-226 .
- 29) 水流忠彦：屈折異常. 坂井建雄・五十嵐隆・丸井英二(編) からだの事典、朝倉書店、2004、p.227-229.
- 30) 水流忠彦：老視. 坂井建雄・五十嵐隆・丸井英二(編) からだの事典、朝倉書店、2004、p.229-231.
- 31) 水流忠彦：角膜乾燥症. 坂井建雄・五十嵐隆・丸井英二(編) からだの事典、朝倉書店、2004、p.231-232 .
- 32) 水流忠彦：網膜剥離. 坂井建雄・五十嵐隆・丸井英二(編) からだの事典、朝倉書店、2004、p.233-234.
- 33) 水流忠彦：ぶどう膜炎. 坂井建雄・五十嵐隆・丸井英二(編) からだの事典、朝倉書店、2004、p.234-235.
- 34) 水流忠彦：白内障手術中の術中・術後合併症と頻度. 白内障手術の傾向と対策ー術中・術後合併症と難治症例、臨眼 58:12-18、2004 .

(D)その他

- 1) 橋本尚子：緑内障臨床現場サプライズ編.第15回日本緑内障学会インストラクションコース、新潟、2004年9月24-26日.
- 2) 茨木信博：白内障手術適応に関する一考案. 栃木眼科研究会特別講演、宇都宮、2004年1月14日.
- 3) 茨木信博：白内障のマネージメント.山梨県眼科医会学术講演会特別講演、甲府、2004年2月5日.
- 4) 茨木信博：白内障の治療. 第43回日本白内障学会・第30回水晶体研究会市民公開講座、舞浜、2004年3月7日.
- 5) 川島秀俊：前眼部のぶどう膜炎～病診連携に関連して. 埼玉県眼科医会・さいたま赤十字病院眼科合同懇話会、さいたま、2004年4月10日.
- 6) 川島秀俊：ぶどう膜炎の治療の最前線～免疫抑制薬. 第21回関東眼科学会、東京、2004年5月16日.
- 7) 川島秀俊：患者への対応～医師の立場から. 第40回関東甲信越眼科学会医療従事者講演会、さいたま、2004年7月.
- 8) 川島秀俊、藤野雄次郎：ぶどう膜炎の最近の治療. 日本医師会ラジオ NIKKEI 医学講座～対談、東京、2004年9月30日.
- 9) 牧野伸二：斜視・弱視の検査と視覚障害者の指導.平成16年度6県合同眼科コメディカル講習会、2004年2月29日 .
- 10) 小幡博人：病理検査の事前・事後処理 何のために病理検査をするのか. 第58回日本臨床眼科学会シンポジウム、東京、2004年11月 .

- 11) 小幡博人：眼病理のすすめ：検体の扱い方と標本からわかること．日本大学眼科学教室症例検討会特別講演、2004年．
- 12) 小幡博人：眼科手術に必要な病理検査の基礎知識．第27回日本眼科手術学会インストラクションコース、2004年．
- 13) 小幡博人：結膜疾患：一網打尽．第37回日本眼科講習会シンポジウム、2004年．
- 14) 小幡博人：日常よくみる眼疾患の顕微鏡レベルでの病態．第41回山梨県眼科集談会特別講演、山梨、2004年．
- 15) 小幡博人：知らなかった！明日からできる眼病理．慶応大学眼科カンファランス特別講演、慶応大、2004年2月26日．
- 16) 小幡博人：知っておきたい眼瞼・結膜腫瘍の基礎知識．第1回自治医大大宮医療センター眼科クリニカルカンファランス、2004年．
- 17) 小幡博人、水流忠彦：上眼瞼脂腺癌（今月の表紙）．臨眼 58（3）：324、2004．
- 18) 杉山華江：第44回日本視能矯正学会印象記．日本視能訓練士協会ニュース 99：21、2004．
- 19) 高橋雄二：バングラデシュでの白内障手術に参加して．第13回伊東市医師会病診連携症例検討会、伊東市医師会館、2004年5月24日．
- 20) 高橋雄二：バングラデシュでの白内障手術に参加して．地域医学 18:205-208、2004．
- 21) 水流忠彦：眼科診療最新のトピックス～角膜・緑内障を中心として～．第13回実地医家の為の臨床内科懇話会（日本医師会生涯教育講座）宇都宮、2004年1月24日．
- 22) 水流忠彦：手術・処置の基礎 縫合の実際．第9回 Tokyo Ocular Surface Forum、東京、2004年6月5日．
- 23) 水流忠彦：コメント：過誤腫．臨眼 58：1387、2004
- 24) 水流忠彦：序文．白内障手術の傾向と対策一術中・術後合併症と難治症例、臨眼 58：9-10、2004
- 25) 水流忠彦：角膜内皮の機能と障害．第104回山口県眼科集談会特別講演、山口、2004年11月7日．